

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(令和2年度対象)



令和3年6月

酒々井町教育委員会

1 はじめに

この報告書は、

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（第26条）の規定に基づき、令和2年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用して点検及び評価を行い、作成・公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

酒々井町教育委員会教育長及び教育委員名簿（令和3年4月1日現在）

職名	氏名
教育長	木村 俊幸
教育長職務代理者	石井 國治
委員	村重 浩二
委員	林 洋子
委員	大塚 益子

2 教育委員会会議等の開催状況

教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて「臨時会」を開催します。令和2年度は定例会を12回開催しました。

また、教育委員会の所管事項について調査・研究する委員協議会（意見交換会）を令和2年度は19回開催しました。（定例教育委員会会議に関する意見交換、教科用図書に関する意見交換など。）

3 教育委員会会議での審議状況

酒々井町教育委員会行政組織規則第5条の規定に基づき、令和2年度は合計で22件について審議しました。

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針・・・・・・・・・・1件
- (2) 教育委員会規則及び訓令を制定及び改廃・・・・・・・・3件
- (3) 予算その他議会の議決を要する事件についての意見申出・・・7件
- (4) 教育に関する事務の点検・評価に関する事・・・・・・・・1件
- (5) 附属機関の委員の委嘱・・・・・・・・・・・・・・・・6件
- (6) 教科書その他の教材の取り扱い方針に関する事・・・・・・・・1件
- (7) 教育委員会の各表彰規程に基づく表彰・・・・・・・・1件
- (8) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件

規則に基づく審議案件の他、報告事項、協議事項についても取り扱いました。

報告事項（49件）の概要

- (1) 教育委員会の各種行事等の報告・・・・・・・・・・12件
- (2) 町予算の議決に関する報告・・・・・・・・・・・・8件
- (3) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29件

協議事項（教育委員会に対して選出依頼のあった各種審議会等の委員の選考など）は、令和2年度はありませんでした。

月別の主な審議議案等の概要

実施月	審議議案	報告事項	協議事項	主な審議案件等
4月定例会	3	1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・附属機関等委員の委嘱 ・公民館定期休館日の特例に関する規則の一部改正
5月定例会	2	5		<ul style="list-style-type: none"> ・町立小中学校の休業日の変更（新型コロナウイルス） ・6月補正予算（案）
6月定例会	1	6		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の点検・評価報告書（案）
7月定例会	1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・教科用図書の採択
8月定例会	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・9月補正予算（案） ・附属機関等委員の委嘱
9月定例会	2	3		<ul style="list-style-type: none"> ・附属機関等委員の委嘱 ・町立図書館の臨時休館
10月定例会		1		
11月定例会	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・12月補正予算（案） ・国史跡本佐倉城跡案内所設置及び管理に関する条例の制定 ・同条例施行規則の制定
12月定例会	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・町立小中学校管理規則の一部改正
1月定例会	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・2月補正予算（案） ・教育委員会被表彰者の選考
2月定例会	2	6		<ul style="list-style-type: none"> ・3月補正予算（案） ・新年度当初予算（案）
3月定例会	2	5		<ul style="list-style-type: none"> ・教育施策の策定 ・附属機関等委員の委嘱 ・補正予算、当初予算の議決結果
合計	22	49		

4 事務事業の点検・評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、令和2年度教育委員会の基本理念、分野毎の重点的な取り組み、主な施策に基づく、各課、教育機関における主要事業を中心に、37事業について点検・評価を行いました。

5 点検・評価の方法

点検・評価の実施にあたり、教育委員会事務局で作成した「教育施策評価表」により実施しました。

評価は、主要事業の取り組み状況（達成度）について、実績・成果・課題を記述し、AからEの5段階で評価するとともに、今後の方向性を、拡大、現状維持、改善、統合、期限付、休止、廃止の7段階に評価する方法で行いました。

なお、法の規定に基づき、学識経験者3名にご意見をいただきました。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している
- B おおむね順調に達成している
- C 達成見込みであるが課題がある
- D 達成できなかった
- E その他

(2) 方針の分類（今後の方向性）

- 拡大・・・・・・事業を拡大充実する
- 現状維持・・・・現状を維持継続していく
- 改善・・・・・・対応すべき改善対策を付して事業を継続する
- 統合・・・・・・独立した事業とせずに他の事業へ含める
- 期限付・・・・・・終期を設定して、そのまま事業を継続する
- 休止・・・・・・事業を休止する（復活の可能性あり）
- 廃止・・・・・・事業をやめる

6 点検・評価の結果

事務事業評価表により点検・評価を実施した37事業の結果は、次のとおりです。また、詳細については、「令和2年度教育施策評価一覧表」を添付しました。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している・・・・11事業

- B おおむね順調に達成している・・・19事業
- C 達成見込みであるが課題がある・・・3事業
- D 達成できなかった・・・・・・・・・・4事業

(2) 方針の分類 (今後の方向性)

- 拡大・・・・・・・・0事業
- 現状維持・・・34事業
- 改善・・・・・・・・3事業

7 まとめ

当町教育委員会では、課題の取り組みや方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たし、信頼される教育委員会を目指すひとつの方策として点検・評価を実施しました。

また、令和2年度酒々井町教育施策として策定した基本理念「しなやかに・・・すこやかに・・・いきいきと・・・」に基づき、分野毎の重点的な取り組み、主な施策を策定し、これらに基づく各課、教育機関における主要事業について、点検・評価を行いました。

評価を実施した主要事業については、事業の目的に従い、計画的に実施していることから、概ね適正かつ順調に執行されたものと判断していますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止した事業も多く、今後の課題が残されました。また、実施方法に工夫や改善が必要である事業も見受けられますので、次年度の予算編成や事業計画を策定する上で検討を重ね、さらに町民の皆様のご意見を取り入れながら、高まる教育ニーズに対応することが必要と考えています。

なお、今回の点検・評価の結果については、町ホームページによる公表を行いますので、町民の皆様からご意見等をいただき、今後の事務事業の執行に反映させていきたいと考えています。

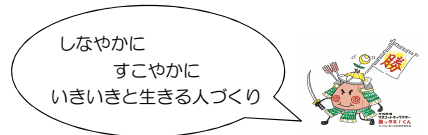
※ 評価委員会委員

職 名	氏 名
委員長	久本 邦夫
委員	長谷川 睦
委員	柳 橋 幸雄

令和2年度事業に係る評価委員会開催状況

- 第1回 令和2年9月10日 (火)
- 第2回 令和3年6月16日 (水)

令和2年度 教育 施策 体系 図



人 自然 歴史が調和した活力あふれるまち 酒々井（将来都市像）

豊かな心を育み歴史を活かした文化創造のまちづくり

しなやかに すこやかに いきいきと生きる人づくり（基本理念）

分野	重点的な取組	主な施策	主な事業
1 学校教育	(1) 教育環境の充実	○学校施設、設備の整備と改修 ○給食施設設備の改修等 ○通学路の安全確保	○統合型校務支援システムの整備○酒々井小学校用地公有地化○酒々井中学校グラウンド拡張 ○学校長寿命化計画の策定○スクールバス運行○通学路安全点検の実施 ○調理場内施設設備（排気ファン・皮むき器）の更新
	(2) 確かな学力の向上	○学習の手引きの活用 ○地域人材の活用 ○きめ細かな指導体制の推進○特別支援教育の充実	○就学支援委員会の開催○学習指導等専門支援員（スクールサポート指導員）、学習活動支援員（スクール支援員）、介助員、学校保健支援員等の配置
	(3) 豊かな心の育成	○学校図書館の充実と読書活動の推進 ○いじめ防止対策の推進○適応指導の推進 ○地域とともに歩む学校づくりの推進	○ネットパトロール及びいじめに関する実態調査○いじめ撲滅キャンペーンの実施 ○ケース会議の開催○図書館アシスタントの配置と読書活動の推進○学校適応専門相談員の配置
	(4) 教職員の資質能力の向上	○教職員研修への支援 ○教職員の教育研究活動への支援 ○適切な評価の活用	○大学等との相互協力○教育活動への助成○自己評価、学校関係者評価及び第三者評価の実施 ○職種経験年数及び教科領域に関する研修会の開催
	(5) 特色ある教育活動の推進	○人権同和教育の推進○環境教育の充実 ○国際理解教育の推進○保小中連携の推進 ○あいさつ運動の推進○郷土を愛する心の涵養	○ALT及び小学校英語専科教員の配置 ○保小中連携推進事業の実施（あいさつ運動等の推進）○人権、同和教育事業の実施 ○英語検定の受検料助成（パワーアップE） ○酒々井学（ふるさと学習）の推進○教育ファシリテーターの配置 ○豊かな心を育むC T Sプランへの助成
	(6) 幼児教育の充実	○教育内容の改善 ○幼児教育に係る支援	○幼児教育・保育無償化、私立幼稚園運営費及び教材費補助事業 ○保育園児への英語活動、体育活動及び情操教育
	(7) 健康・体力づくりと食育の推進	○体力、運動能力の向上○競技力の向上○安全安心な給食の提供 ○食育推進○食物アレルギー対応	○酒々井町小学校運動能力証の交付○部活動指導員の配置○大会参加経費の助成 ○食育指導○食物アレルギー対応○地元産食材の利用
2 社会教育	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	○ライフステージに応じた生涯学習プログラムの充実 ○指導者等の育成○学習サークル活動への支援 ○学習情報の提供の充実○人権に関する関心の高揚 ○各種イベントの開催○公民館等主催講座の充実と学習成果の活用○子ども読書活動の推進	○成人式の開催○まちづくりフォーラムの開催（町長部局と共催） ○学習サークルへの支援○町民文化祭の開催○人権教育セミナーの開催 ○しずい青樹堂及び青樹堂師範塾の開催○子ども青樹堂（3・4年生及び5・6年生）の開催 ○コスモス会日本語教室○社会教育指導員の配置○図書館講演会やおはなし会等の開催
	(2) 生涯学習の推進体制の整備	○人材養成とその活用 ○学校教育への支援○社会教育委員との連携○地域づくりに係る組織化の推進	○学校教育の支援促進○地域未来塾の開催○土曜日の教育支援体制等の構築 ○社会教育委員会議等の充実
	(3) 学習関連施設の整備	○施設、機器の維持管理 ○施設の円滑な運営と利用促進	○公民館の維持管理及び改修 ○プレミアム酒々井の管理運営○図書館資料の拡充及び図書館サービスの充実
3 スポーツ	(1) スポーツに参加できる環境の整備	○体育施設の整備検討○学校体育施設の活用促進 ○指導者の確保、養成○参加する機会の拡充と情報提供の充実	○町民体育館等活動の場となる体育施設整備の検討○学校体育施設の活用促進 ○指導者講習会への参加促進○スポーツ推進委員連絡協議会への助成○ライトスポーツクラブの開催 ○健康体育アドバイザーの配置
	(2) スポーツ活動への支援	○スポーツ関係団体への支援 ○スポーツ大会の開催	○各種スポーツ教室、大会等の開催○第71回印旛郡市民体育大会 ○体育協会への助成
4 青少年の育成	(1) 家庭の教育力の向上	○保護者等への支援 ○広報活動の充実 ○基本的生活学習習慣への支援○家庭学習の充実促進	○家庭教育学級の開催○家庭教育に関する広報啓発活動○家庭教育指導員の配置 ○早寝早起き朝ごはん運動の実施 ○スマートフォン利用の啓発と家庭と考える「NOスマホデー」
	(2) 地域の教育力の向上	○子どもの社会参加の促進 ○学校教育への支援、協働 ○あいさつ運動の推進	○子ども会活動○青少年相談員による各種イベントの開催○青少年おもてなしカレッジの開催 ○北海道陸別町との児童交流○群馬県長野原町との児童交流 ○地域学校協働本部
5 文化芸術	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承	○文化財の保護と活用 ○郷土芸能の保存、伝承の支援	○郷土研究会への助成○ボランティアガイドの育成、活用○本佐倉城跡の保存整備 ○文化財管理及び歴史的な文書の保存利活用○まちの顔づくり推進事業 ○墨古沢遺跡の保存整備○町内埋蔵文化財調査事業 ○地方創生拠点整備交付金事業（本佐倉城跡入口広場整備事業建築工事）
	(2) 文化活動の振興	○文化団体への支援 ○情報提供の充実 ○参加者の拡大	○文化協会への助成○町民文化祭の開催及び実行委員会への支援
6 国際交流 平和教育	(1) 国際人の育成推進	○英語力の向上とグローバル人材の育成 ○国際交流の拡大	○中学生国際交流（派遣・受入れ）事業
	(2) 平和を希求する意識の高揚	○命を大切に教育 ○環境教育 ○人権教育	○人権教育セミナーの開催
7 教育行政の推進	(1) よりよい地域・学校づくり	○学校地域における要望等の把握 ○学校給食費に関する公平化及び負担軽減	○各学校の評議委員会の活性化推進と意見聴取 ○学校給食費収納事務○第3子以降学校給食費免除制度
	(2) 教育事業の説明の推進	○積極的な教育委員活動○教育委員会の活性化	○積極的な学校訪問及び意見交換会の開催○教育委員会会議の開催及び会議結果等の広報活動 ○教育委員会の点検・評価○教育委員会表彰の実施

教育委員会の点検・評価

令和2年度 教育施策評価表

酒々井町教育委員会

令和2年度 教育施策評価表

	所属名 こども課
分野	1 学校教育
重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な事業	統合型校務支援システムの整備
事業の概要	<p>学校が抱える課題が複雑化・困難化し、学校の役割が拡大する中、これに比例して教職員の業務負担が増大している。教員勤務実態調査においても、看過できない教職員の勤務実態が示されている。統合型校務支援システムの導入は、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、働き方改革を推進していくための有効な手段と考えられるので、年度内に導入を行う。</p>

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		0	9,386
	<p>令和2年9月に一般競争入札を実施し、契約（5年間の長期継続契約）を締結した。契約の内容は、教育委員会と小中3校をイントラネットで結び、システムサーバと専用回線（VPN回線）で通信するWEB方式とした。機能は、児童生徒情報・出欠管理・成績管理・保健管理・体力テスト管理・個人の記録・グループウェアを搭載することとした。当システムの導入により、使用熟度の向上とともに教職員の校務時間の短縮が図られ、児童生徒と向き合う時間の確保や児童生徒の情報の一元管理が図られることを期待している。</p>		
課題・問題点	<p>(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。) 導入時研修や相談受付等を充実させ、導入したシステムが円滑に使用できるよう配慮していく必要がある。</p>		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	<p>(意見等) 教育環境の整備が順調に整っている様子で、大変喜ばしい。 先生方が習熟することにより、児童生徒と向き合う時間の確保につながる ので、研修時間を十分に確保するほか、教育委員会からも積極的に先生方に 声をかけるなどし、不安の解消に努めていただきたい。 学校がチームになって、システムに慣れていくことを期待する。</p>
----------------	---

令和2年度 教育施策評価表

		所属名	こども課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(1) 教育環境の充実		
主な事業	酒々井小学校用地公有地化		
事業の概要	酒々井小学校用地は、町有地が84.74%で、依然借地が15.13%残っていることから、将来にわたり健全で安定した学校経営が維持できるよう用地購入を進める。また、地権者の皆様に対して、町が用地の購入意思があることを絶えず文書等を含めて示すとともに、必要に応じて挨拶に伺うなど、話し合いの場を広げられるよう努める。		

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		0	13,223
	地権者1名から3筆1,155平方メートルを購入した。		
	この結果、町有地は87.74%に増加し、借地は12.26%となった。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。) 来年度以降も引き続き地権者の方々のご理解が得られるよう進める。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(意見等) 本年度も用地の購入ができ、目標に近づいている。用地購入は相手がいることで難しい面もあるが、根気よく交渉を続けていただきたい。

令和2年度 教育施策評価表

	所属名		こども課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(1) 教育環境の充実		
主な事業	酒々井中学校グラウンド拡張		
事業の概要	グラウンド拡張事業の一環として、テニスコート整備（人工芝コート5面、照明設備、給水設備、防砂ネット、外周路、駐車場等）を実施する。この整備により、テニス部員一人ひとりの練習時間の増加が見込まれ、競技力の向上が期待されることはもとより、学校開放の対象施設として、広く町民が利用できる施設となるよう努める。併せて、財源となる助成金の申請事務等を行う。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		417	119,431
	令和2年9月に契約し、年度内に予定どおり事業を完了した。		
	学校開放については、学校開放に関する規則の一部を改正する規則が5月の定例教育委員会会議で可決され、今後の開放に向けて整備を進めた。		
	財源については、財団法人日本スポーツ振興センター助成金の交付決定を受けるとともに、有利な起債を調達するなど、一般財源（町単独経費）の抑制に努めた。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 今後は、テニスコート整備に続く拡張整備に向け、必要な用地を購入できるよう地権者の皆様に事業の説明を行うとともに、円滑な事業の進捗に向け、さらに詳細な検討を行う必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	（意見等）テニスコートの完成について、広報紙に記載があった。工事の目的や今後の展開について記載があることで、町民の目に触れ、地域の方々に応援してもらえる学校につながっていくと考える。

令和2年度 教育施策評価表

	所属名 こども課
分野	1 学校教育
重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な事業	学校長寿命化計画の策定
事業の概要	町立小中学校及び学校給食センターは、建設から時間が経過し、各所に劣化が見られる状況であることに鑑み、文部科学省の指針に基づき専門業者による調査（施設の中性化の進行状況調査など）等を行った上で、今後の長寿命化計画（個別の施設の修繕の時期、費用等を総合的に示した計画）を業務委託により策定する。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		0	4,312
	一般競争入札により業務委託し、年度内に事業を完了した。		
	施設の中性化の進行状況については、各施設とも深刻な劣化は認められなかった。また、現地調査により、施設の老朽箇所の把握が進み、今後の修繕、改修時期の方向性がまとまった。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 計画の策定により、今後の方向性がまとまったので、現場の状況の把握をさらに進めながら、適切な時期に適切な工法で長寿命化が図られるよう、予算措置等を含めて庁内調整を図りたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	（意見等）計画の完成により、今後の方向性がまとまった。計画に沿って学校施設の長寿命化が図られることを期待する、また、現場では常に故障などのアクシデントが発生するので、十分な対応をお願いしたい。
----------------	--

令和2年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(1) 教育環境の充実		
主な事業	スクールバスの運行		
事業の概要	小学校への通学が不便な子ども達を援助するため、墨地区には町所有のスクールバスを、伊篠・馬橋地区には町社会福祉協議会に委託したバスを運行する。いずれの利用料金も町が負担する。児童数の増加（急な転入）に対応すべく、馬橋地区においては、タクシーを増車して対応する。なお、京成電鉄を利用する下岩橋地区の児童の利用料金も町が全額補助負担する。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		14,565	14,635
	学校教育課でバスを所有し、シルバー人材センターからの運転手派遣により事業を進めている。順調な運営ができています。元年度末の3月下旬に急な転入生（馬橋地区へ4名）があり、タクシーを増車して対応した。6月補正で費用（42万3千円）を確保し、実施した。		
課題・問題点	シルバー人材センターの運転手の人員が少ないことから、学校教育課が分担している墨方面のバス運行に影響がないか不安である。今後、新入生及び転入生の増加によっては、乗車定員を超えることも考えられる。スクールバスとタクシーの併用運行を研究していきたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	（問）令和3年度に向けて急な転入者があったとのことだが、今後、町内への転入者が見込まれる地区はあるのか。		
	（答）伊篠地区に43戸の開発が予定されていると聞いている。伊篠地区はスクールバスの対象地区なので、情報収集等しながら、備えていきたい。		

令和2年度 教育施策評価表

所属名 学校教育課

分野	1 学校教育
重点的な取組	(2) 確かな学力の向上
主な事業	学習指導等専門支援員、学習活動支援員、介助員、学校保健支援員等の配置
事業の概要	学習指導等専門支援員5名、学習活動支援員4名、特別支援学級介助員5名、学校保健支援員1名を各小中学校に配置し、各校の教育活動を支援する。今年度より学校保健支援教員を新規に1名雇用し、各校に週に1度のペースで派遣し、学校保健の充実を図るとともに、保健室に教員がいない状態を回避する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		14,232	16,684
	学習指導等専門支援員等の配置により、通常学級で学習につまずきのあ る児童生徒に個別の支援を行ったり、特別支援学級の学習活動を個別に支 援したりする等、きめ細かな学習支援を行うことができた。 また、今年度より配置した学校保健支援教員の活用により、保健室に教 員のいない時間がなくなる等、学校運営上、たいへん有効に機能するに 至っている。		
課題・問題点	質の高い支援員等の確保が維持できるよう支援員との面接等を工夫する とともに、学校との連携をさらに進めていきたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における 意見交換等の内容	(問) 手厚い支援員の配置で現場は助かっていると思われる。本年度の支援員を採用する際に、どのような工夫をしているか。
	(答) 面接等の段階で十分な意見交換をしている。
	(意見等) 教職員は経験を重ねることによる悩みも出現するので、支援員によるアドバイス等も有効と思われる。また、これだけ支援員を配置することで先生方も意気を感じて仕事に力が入ると思われる。財政的な面で大変だが今後も継続していただきたい。

令和2年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成		
主な事業	ネットパトロール及びいじめに関する実態調査		
事業の概要	スマートフォンの普及に伴い、新聞等で児童生徒間のSNS等のトラブルが報道されている。酒々井町で発生しないよう、ネットパトロールを専門業者に依頼し見守りを行う。また、いじめ問題を早期発見し、早期に対応すべく、児童生徒へのアンケートを年間4回実施（新型コロナウイルス感染症の影響で例年より縮小して実施）し、児童生徒の健全育成を推進する。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費（千円）	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		97	146
	各学校に「いじめの基本方針」を周知し、いじめアンケートを年4回実施するなかで、いじめ防止を進めた。また、ネットパトロールも計画どおりに実施することができた。大きないじめ問題は発生していない。		
	新型コロナウイルス感染症の影響で外部人材を活用したSNS等に係る指導が実施できなかった。		
課題・問題点	次年度には、外部人材を活用した新型コロナウイルス感染症の影響を受けないスマートフォン等のSNSモラル関係の指導が実施できるよう方策を検討する。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(意見等) スマートフォンの使用方法など、SNS等に係る指導は大切なことなので、十分をお願いしたい。また、コロナ禍で人材を招くことが難しい場合は、資料を取り寄せることなどでの対応も検討いただきたい。
----------------	---

令和2年度 教育施策評価表

所属名 学校教育課

分野	1 学校教育
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成
主な事業	図書館アシスタントの配置と読書活動の推進
事業の概要	児童生徒の豊かな心の育成に「読書」は欠かせない。様々な人々の思いや考えを学び取れる。学校において、図書館アシスタントを配置し、学校図書館の充実を図ると同時に、読書活動を推進することを通して、生涯、自ら学び続ける児童生徒の育成を進める。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		4,734	4,489
	図書の購入を含め、各学校図書館の運営については、担当教員が学校図書館アシスタントと連携して計画を立てるとともに、授業での図書の必要性及び児童生徒の実態（興味・関心を含む）に即した図書館整備を進めることができた。 図書の年間貸出数も増加し、小学校児童一人当たりの年間平均貸出数も確実に向上してきている。（令和元年度59冊→令和2年度70冊）		
課題・問題点	学校図書館教育について、公立図書館との連携をさらに進めるようにする。		
	中学生の貸出数が伸び悩んでおり、今後の課題となっている。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における 意見交換等の内容	(問) 中学生の読書数（借りる冊数）が伸びないとのことだが、朝読書などの時間は設けているのか。
	(答) 朝読書の時間は設けていない。ドリル等の時間としている。
	(意見等) 本に触れる時間が作れると読書の習慣が身につく。小学校で読書の習慣が身につくと、中学校で仮に一時的に読書から離れても習慣は残るものとする。

令和2年度 教育施策評価表

所属名 学校教育課

分野	1 学校教育
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成
主な事業	学校適応専門相談員の配置
事業の概要	本町でも中学生の不登校生徒が見られる。中学校においては「ほほえみ教室」を設置し、クラスに入れない生徒への対応を行っているが、学校敷地内に足を踏み入れることさえできない生徒には活用できない。そこで、町教育委員会で「ふれあいルーム」を設置し、生徒の学習活動を保障する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		2,148	1,905
	相談員を2名配置し、小学生(4年生1人)・中学生(3年生1人、2年生1人、1年生1人)の通級を支援した。中学3年生の進学先が決定するとともに、年度途中から通級を開始した小学4年生も少しずつ落ち着きが見られるようになり、学校への登校が増えてきている。		
課題・問題点	今後も小・中学校と連絡を取り合い、より個々の児童生徒の状況・実態に応じた支援を進めたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	

令和2年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
分 野	1 学校教育		
重点的な取組	(4) 教職員の資質能力の向上		
主な事業	教育活動への助成		
事業の概要	各小・中学校には、児童生徒の教育に係る研究を進め、きめ細かな教育を推進したいと考える意欲的な教職員が少なからず存在する。しかしながら、その研究を支援する制度が存在しない。そこで、町教育委員会において「教職員の特色ある教育研究支援事業」としてシステムを作り、教職員の意欲的な研究をサポートする。		

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		400	400
	5月に教職員の特色ある教育研究補助事業審査会を行い、研究企画のプレゼンにより1席・2席を決定するとともに、補助金を概算払いで支出した。2月下旬に活動報告会を実施し、研究の普及に努めた。		
課題・問題点	教員の働き方改革に資するべく、令和3年度より隔年実施とすることとした。しかしながら、学校・教員より教育委員会に依頼があった場合には、指導主事を派遣する等、教育研究支援は継続していく。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における 意見交換等の内容	

令和2年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
分野	1 学校教育
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な事業	A L T及び小学校英語専科教員の配置
事業の概要	小・中学校における国際理解教育を推進するため、A L Tを各小・中学校に一人ずつ配置し、チームティーチングによる指導を中心にして、コミュニケーション能力の向上を図る授業を行う。また、小学校には、英語専科教員を配置し、教職員の研修と学習指導の充実を図る。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		17,182	16,442
	平成29年度よりA L Tを各小中学校に1名を、さらに平成30年度より各小学校に英語専科教員を配置し、充実した英語学習が実現されている。		
	小学校では、英語専科教員を中心とした研修を計画的に進めるとともに、担任が、授業終了後、直接、英語専科教員から授業に係るアドバイスを受けることも多く、それらの積み重ねによる指導力の向上がうかがえた。		
課題・問題点	令和3年2月に実施した県学力検査では、中学1年生の英語科について、県平均を4.4点上回るという成果を残すに至っている。		
	小学校では、昨年度より新学習指導要領の完全実施となったが、充実した英語教育が展開されている。今後も、さらに小中学校の連携を進め、連続性のある英語教育が実践されるよう各校を支援していきたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(問) 達成度がBとなっているが、説明を聞く限りAではないか。
	(答) 担任などが英語専科教員に頼っている傾向が見られたので、今後、自立が進んでくれることを期待して厳しい評価とした。

令和2年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
分野	1 学校教育
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な事業	保小中連携推進事業の実施（あいさつ運動等の推進）
事業の概要	<p>小・中学校において挨拶、掃除、時間、聞く、話す、の5点を重点項目とし、9年間の学校生活において子ども達に意識させて活動させるようにする。</p> <p>また、教科学習において、9年間を見通した学習活動が実施できるよう推進協議会を設置するとともに、「全体会」や「分科会」を開催して事業を進める予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で全体会等は中止とした。</p>

3月末の状況

取組状況（達成度）	D 達成できなかった		
実績・成果	事業費（千円）	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		300	300
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、12月に屋外で実施した小中連携あいさつ運動及び少人数で実施できる協議会以外は中止とした。</p> <p>12月に小中学校のあいさつ運動では、中学生が小学生に向けて発した「酒々井を『あいさつ日本一の街』にしましょう」という言葉が印象的であった。そのためか、いつものより大きな声でのあいさつであったように感じた。各校で元気なあいさつが継続されるよう支援を継続していく。</p>		
課題・問題点	<p>新型コロナウイルス感染症の影響は残るであろうが、感染症の拡大防止対策を図りつつも、各種事業の実施に向けて検討を重ねていきたい。</p>		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	<p>(意見等) コロナ禍で事業が実施できなかったことはやむを得ないとして、人が集まらない中で、原点に戻り挨拶の意義等について考えることも今後に向けて大切なことと考える。</p>
----------------	---

令和2年度 教育施策評価表

所属名 学校教育課

分野	1 学校教育
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な事業	人権、同和教育事業の実施
事業の概要	小・中学校3校では、教育活動の基盤として「人権・同和教育」を推進し、心豊かな児童生徒の育成を進めている。しかしながら、「人権教育」「同和教育」はたいへん指導し難く、授業に係る研究が必要不可欠な領域である。そこで、3校が輪番で公開研究会を開催し、研究協議をとおして研究を深め、授業力の向上を図る。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		595	608
	児童生徒の実態を分析しながら各学校で人権・同和教育の実践を集積し、11月26日には酒々井中学校で公開授業研究会を実施した。また、人権作文集及び人権・同和教育推進資料(第32集)を作成・発行を発行した。		
課題・問題点	小学校から中学校まで9年間継続した人権・同和教育を行い、自他の人権について考える機会を十分に確保してきた。今後も小・中学校の連携を図りあらゆる機会をとおして、さらなる人権意識の向上を進めていく。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(意見等) 人権作文を読ませてもらって、継続してきた成果が表れている、と感じられる。先生方の人権感覚を日頃から高めていくことが、児童生徒への教育に大きく関係していくと思われるので、先生方の積極的な研修の参加など、これまでどおり推進をお願いしたい。
----------------	---

令和2年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
分野	1 学校教育
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な事業	豊かな心を育むCTSプランへの助成
事業の概要	町教育委員会では、環境教育を含めた各学校の特色ある教育活動を推進している。そのため、各学校の校長裁量で活用できる予算を確保し、更なる推進を図る。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		700	700
	それぞれに事業計画書にしたがって、事業展開した。各小中学校に補助金(小学校200千円、中学校300千円)を交付し、以下のとおり、各学校の実情に応じた特色ある教育活動を推進することができた。		
	・酒々井小学校…ホテルの里や根古谷を中心とした地域学習の推進		
	・大室台小学校…大室キャンプや畑・花壇で自然に親しむ体験学習の推進 ・酒々井中学校…漢字検定料等の補助などによる学力向上の推進		
課題・問題点	各小・中学校の特色ある教育活動をさらに推進すべく、次年度も本事業を継続していく。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における 意見交換等の内容	(問) 実績・成果の説明を聞く限り、達成度はAで良いと考えるが、Bとした理由は何か。さらなる成果を望んでいるのか。
	(答) 各学校では目標を定め、十分に取り組んでいただいた。さらに充実した取組みをしていただきたくBの評価とした。
	(問) 年度ごとの評価であるので、単年度での評価としても良いと考える。
	(答) 今後、達成度を自己評価する参考とさせていただきたい。

令和2年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
分野	1 学校教育
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な事業	酒々井学（ふるさと学習）の推進
事業の概要	これからの国際化に対応できる児童生徒の育成には、郷土を愛する気持ちの育成が重要となる。そこで、酒々井学を推進する職員1名を学校教育課に配置し、酒々井町を様々な観点から検証し、町内の人材の協力を得つつ、将来も地域で活躍する人材の育成を図る。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		4,013	1,488
	酒々井学を推進する職員が中心になり、教員による推進プロジェクトチーム及び地域の方々のご協力で教職員向け指導資料「酒々井発見伝」を作成した。また、小学校の郷土資料館整備も継続的に実施し、展示資料の解説やイラストパネル等を充実を図りつつ酒々井学の学習拠点として整備を進めた。		
課題・問題点	地域素材の有効な活用を今後も計画実施する。次年度は「酒々井学」の指導資料集「酒々井発見伝」等これまでの作成してきた資料を活用した授業の充実を推進していく。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(意見等) 「酒々井学」の指導資料集「酒々井発見伝」は、資料収集や指導書としての作成などご苦労されたと思われる。このような指導書があることは、先生方にとっても児童にとっても良いことと思われるので、大いに活用していただきたい。
----------------	--

令和2年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
分野	1 学校教育
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進
主な事業	部活動指導員の配置
事業の概要	<p>中学校教職員の働き方改革を進めるには、部活動の指導時間の縮減が必要である。しかしながら、中学校の部活動は、生徒が楽しみにしている活動であり、保護者も、その充実を望んでいる。そこで、部活動指導員を導入し、中学校教職員の負担軽減を図るとともに、専門的な指導の充実を図る。</p>

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		678	417
	<p>2名を雇用し、中学校陸上部及び吹奏楽部の指導を依頼した。顧問の教員と連携しつつ、専門性に基いたきめ細かな指導がなされた。</p> <p>10月18日に横浜市の日産スタジアムで開催されたJOCジュニアオリンピックカップ全国中学生陸上競技大会2020にて、女子砲丸投げ5位、女子100mハードル4位、女子リレー(4×100m)予選出場を果たした。</p>		
課題・問題点	<p>次年度も継続し、さらなる部活動の充実及び教員の働き方改革を推進すべく、指導・支援を進めたい。</p>		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(問) 新聞でも見たが、素晴らしい成果が出ている。今後も継続できるか。
	(答) 県からの補助金を受けている。当初3年間限定だったが、5年に延長された。5年後以降は未定である。予算措置・予算に見合う指導員の確保などが課題である。
	(意見等) 指導員の配置など、教育環境の整備が活躍につながっている。
	財源などの課題はあるが、今後も継続できることを期待している。

令和2年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
分 野	1 学校教育		
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進		
主な事業	大会参加経費の助成		
事業の概要	中学校の部活動には、地区大会、県大会等があり、生徒はその大会を目標に毎日の活動を精力的に行っている。しかしながら、各大会には移動が必要であり、毎回、保護者をお願いすることも困難で、どうしても有料バス等の手段を用いる必要がある。その予算の確保が不可欠であり、助成の充実を図る。		

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		1,048	327
	中学校から補助金申請に基づき概算払いにより補助金を支出した。		
	新型コロナウイルス感染症の影響で競技会等が減少したため、支出金額が減少した。		
課題・問題点	次年度も継続し、さらなる部活動の充実を図るべく、指導・支援を進めたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における 意見交換等の内容	

令和2年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
分野	6 国際交流 平和教育
重点的な取組	(1) 国際人の育成推進
主な事業	中学生国際交流（派遣・受入れ）事業
事業の概要	酒々井町の未来を担う子供達に世界を見据えた広い視野を育成すべく、酒々井中学校の生徒をドイツ、オーストラリアへ派遣したり、ドイツ生徒を隔年で受入れたりする中で、子供達の英語力向上や国際理解教育を推進する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度の派遣事業を中止するとともに受入れ事業を延期とした。

3月末の状況

取組状況（達成度）	D 達成できなかった		
実績・成果	事業費（千円）	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		7,705	3
	新型コロナウイルス感染症の影響でドイツ生徒受入れ事業を延期するとともにドイツ及びオーストラリアへの派遣も中止とした。また、令和3年度の実施に向け新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつも、実施の準備も併せて行っていきたい。		
課題・問題点	今後の新型コロナウイルス感染症の状況を注視していく必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(意見等) コロナ禍で人材の交流ができなかったことはやむを得ないとして手紙やインターネットでのやり取りなど、既に実施しているものもあると思われるが、このようなときこそその交流について考えるのも意義があると思われる。
----------------	---

令和2年度 教育施策評価表

所属名 生涯学習課

分 野	2 社会教育
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援
主な事業	人権教育セミナーの開催
事業の概要	①人権意識の向上と人権問題への正しい認識を図るため、町民を対象とした年間6回のセミナーを計画している。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から未実施としている。今後、状況を見極めながら検討していく。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	D 達成できなかった		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		441	0
	年間6回のセミナーを計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出により、開催はできなかった。 次年度以降は新型コロナウイルス等の感染症対策に留意しながら、事業の実施を検討していく。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発出により、開催できなかった。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(問) 各種事業の中止の判断は、緊急事態宣言とイコールであったか。 (答) 町のコロナ対策本部会議で決定してきたが、緊急事態宣言下で事業の実施はできなかった。年度の後半は事業を実施すべく準備を重ねていたが、緊急事態宣言が再宣言され、やむを得ず中止とした。

令和2年度 教育施策評価表

	所属名 生涯学習課
分野	2 社会教育
重点的な取組	(2) 生涯学習の推進体制の整備
主な事業	土曜日の教育支援体制等の構築
事業の概要	①コーディネータの配置 (3名)
	②小学3年生から6年生対象とした学習支援 (国語・算数)
	こども青樹堂 (3・4年生) 年間13回実施
	こども青樹堂 (5・6年生) 年間14回実施
※新型コロナウイルス感染症対策を取りながら7月より実施	

3月末の状況

取組状況 (達成度)	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		1,651	1,036
	小学校3・4年生対象の「こども青樹堂」では児童24名に8回 (緊急事態宣言の発出に伴い5回休止) の学習会を実施し、国語 (漢字の読み書き・意味等) ・算数 (加減乗除) 等の基礎の学び方を学習することで自主的な学習活動を支えた。		
	小学校5・6年生対象の「こども青樹堂」では児童22名に9回 (緊急事態宣言の発出に伴い5回休止) の学習会を実施し、国語・算数の基礎基本習熟と発展的な学習指導を行った。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		
	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発出により、実施回数が減少してしまった。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	

令和2年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(2) 生涯学習の推進体制の整備	
主な事業	地域未来塾の開催	
事業の概要	①コーディネータの配置 (1名)	
	②中学生を対象とした学習支援 (英語・数学)、年間31回実施	
	※新型コロナウイルス感染症対策を取りながら7月より実施	

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		340	749
	中学生の希望者を対象に元教員などの地域住民の方の協力を得て、学習習慣の確立と基礎学力の定着を目的に実施した。		
	・実施日 日曜日の午後を中心に年間31回実施		
	・受講生 1年生9人、2年生4人、3年生10人		
	・コーディネーター兼学習支援員 1人		
	・学習支援員 8人 (うち順大生3人)		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における 意見交換等の内容	(問) 年間31回の実施を予定して全部実施できているが、達成度はBであり、厳しい評価と見受けられるがいかがか。
	(答) 緊急事態宣言等の影響を受け、当初予定していたよりも圧縮して実施したこと、また、受講者が23名と想定よりも少なかったことから、厳しく評価をした。

令和2年度 教育施策評価表

担当課 生涯学習課

分野	3 スポーツ
重点的な取組	(1) スポーツに参加できる環境の整備
主な事業	学校体育施設の活用促進
事業の概要	①学校開放体育施設の効率的な貸し出し ・酒々井中学校体育館改修工事に伴う、利用枠の調整
	※9/1現在、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から屋内施設の開放を中止している。
	②新設される酒々井中学校テニスコートの活用について検討

3月末の状況

取組状況 (達成度)	D 達成できなかった		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		0	0
	①新型コロナウイルス感染防止の観点から屋内体育施設の開放を中止した。屋外体育施設については感染予防策を講じたうえで施設を貸し出し、スポーツ・レクリエーションに親しむ場を提供した。		
	②新設された酒々井中学校テニスコートの活用について関係課と協議した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		
	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発出により、屋内体育施設の貸出しができなかった。酒々井中学校テニスコートについては施設開放に向け規則改正が必要となる。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	

令和2年度 教育施策評価表

		担当課	生涯学習課
分 野	3 スポーツ		
重点的な取組	(1) スポーツに参加できる環境の整備		
主な事業	健康体育アドバイザーの配置		
事業の概要	①生涯学習課に経験豊富な人材をアドバイザーとして配置 (1名)		
	②スポーツ団体への支援		
	③小中学校部活指導教員への指導		
	④各種事業に係る調査研究		

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		2,380	2,155
	経験豊富な元酒々井中学校校長の加瀬先生をアドバイザーとして配置し、酒々井アスリートクラブの運営支援、小学校の陸上練習支援、中学校部活動支援及び各種スポーツ関係事業の相談・支援を行った。		
	・酒々井アスリートクラブ会員55名 (内訳：小・中学生49名、一般6名)		
	・酒々井町水泳教室 (新型コロナウイルスにより令和2年度は中止)		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(問) 小中学校の陸上練習指導等の他に、各種スポーツ関係事業の相談・支援をおこなったとあるが、内容を伺う。		
	(答) 町が行うスポーツ事業等についても指導をいただいている。		

令和2年度 教育施策評価表

	担当課 生涯学習課
分野	4 青少年の育成
重点的な取組	(2) 地域の教育力の向上
主な事業	地域学校協働本部
事業の概要	①町内各校のコーディネーターの配置
	②地域住民等の参画による学校を核とした地域づくりの実施 (郷土学習、下校の見守り、授業補助、学校行事支援、環境整備等)

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		1,494	1,486
	コーディネーターが中心になり、教育環境の整備や教育活動の支援、貸し出し図書の消毒等を行った。令和2年度の活動は、緊急事態宣言の発出等の影響もあり、例年よりも参加するボランティアの方の人数は減少したが、教育環境の整備や貸し出し図書の消毒等、学校の教育活動を後方からサポートすることができた。 地域の方がボランティア活動に参加することで、学校の教育活動に関心を持つきっかけになり、活動の継続や内容の充実につながる可能性がある。 (※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		
課題・問題点			



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(意見等) 地域住民が学校経営の手助けをしてきて、目的が順調に達成できており評価できる。このような協力者がいることを様々な場面でPRし、協力者が増えることで、さらに学校が良くなることを期待する。
----------------	---

令和2年度 教育施策評価表

担当課 生涯学習課

分野	5 文化芸術
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承
主な事業	本佐倉城跡の保存整備
事業の概要	①城山郭等の危険木・障害木の一部伐採
	②本佐倉城跡案内所内展示パネル等整備
	③講演会の開催

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		4,291	6,955
	①地元住民からの要望により、倉跡の民家裏の危険木・危険竹の伐採を3月上旬に実施し、終了した。		
	②予定通り本佐倉城跡案内所が8/31に竣工しました。その後、所内の備品や展示パネル等の製作についても1月下旬までに終了し、1/30には開所式を実施したが、コロナウイルスの緊急事態宣言により年度内は閉所となった。		
課題・問題点	③2/20実施で講演会・見学会の進めていたが、コロナウイルスの感染拡大予防のため中止した。		
	城跡の今後の整備事業工程、指定地拡大の詳細については、町実施計画及び予算面と調整しながら、国・県と協議して検討を引き続き行っていく必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにはほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(意見等) 墨古沢遺跡と合わせて町の重要な文化財であり、それぞれ大きな事業である。長期的なビジョンで計画的に事業が進むことを期待する。

令和2年度 教育施策評価表

担当課 生涯学習課

分野	5 文化芸術
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承
主な事業	墨古沢遺跡の保存整備
事業の概要	①保存活用計画策定委員会の開催
	②保存活用計画の策定業務委託(2か年計画の2年目)の実施
	③国史跡指定1周年記念シンポジウムの開催

3月末の状況

取組状況(達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		5,915	5,691
	①保存活用計画策定に伴い、有識者により組織する保存活用計画策定委員会を3回(7/20、11/2、2/24)実施した。		
	②策定委員会で内容を精査しながら、1/25~2/8にはパブリックコメントを実施して、3/25に『史跡墨古沢遺跡保存活用計画書』を刊行した。		
課題・問題点	③コロナ対策を十分に考慮しながら、12/5に開催した。一般の方132名の参加をいただき、史跡の周知を図ることができた。		
	整備・活用について、今後も各種計画の策定や整備の範囲・方法など国・県・関連諸団体と協議を行いながら進めていかなければならない。また、周知・普及事業など、より多くの人知ってもらう具体的な取り組みを継続して進める必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(問) 実施した事業と中止した事業がある。中止の基準は何か。
	(答) 町コロナ対策会議での基準に基づいて判断をした。

令和2年度 教育施策評価表

担当課 生涯学習課

分野	5 文化芸術
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承
主な事業	まちの顔づくり推進事業
事業の概要	①観光拠点の管理事業
	・印旛沼眺望名勝地「下がり松」の景観阻害木の剪定
	・町登録文化財「相川文子家」の隣地境界板塀修理

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		2,156	1,133
	①観光拠点の管理事業を実施した。		
	・印旛沼眺望名勝地「下がり松」の景観阻害木3本について、1/26に剪定を実施した。		
・町登録文化財「相川文子家」の隣地境界塀について、7/8から工事を実施して完了した。			
課題・問題点	具体的な町並み整備・内容については、景観計画との整合性を図りながら、引き続き県やまちづくり課と協議を行ない、検討を進める必要がある。		
	また台風等で被害にあった旧酒々井宿の町登録文化財建造物の修理・活用等の長期的・総合的な計画も今後考えていく必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(問) 今後の活用に向けて情報はるか。
	(答) 旧国道51号沿いを「まちの顔」として整備している。勘家・相川家の整備を始めている。文化財の保存方法として元に戻すことを目指すと時間も予算もかかるので、工法等を検討し、計画的に進めたい。
	(問) 早急に活用できる文化財はあるか。
	(答) 検討を進めているところである。

令和2年度 教育施策評価表

担当課 中央公民館

分野	2 社会教育
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援
主な事業	しすい青樹堂及び青樹堂師範塾の開催
事業の概要	社会教育を振興し、まちづくりの指導者の養成を目指し、講座を開催する。
	①しすい青樹堂(2年制) 2クラス 年間16回講座開催
	②青樹堂師範塾(1年制) 1クラス 年間16回講座開催
	※新型コロナウイルス感染症対策を取りながら7月より実施

3月末の状況

取組状況(達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		6,019	5,282
	新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言が発令され、大幅に講座の変更や中止となった状況のなか、講座回数は減ったものの3月に卒業、修了証書授与式を開催することができた。卒業となる青樹堂師範塾5期生は、「酒々井町の景観活性化を目指して」を題目にした卒業発表をすることができた。		
	青樹堂師範塾(5名)・しすい青樹堂7期生(8名)・8期生(17名)		
課題・問題点	引き続き、感染症防止対策を行ないながら開催していく。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	

令和2年度 教育施策評価表

	担当課 中央公民館
分野	2 社会教育
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備
主な事業	公民館の維持管理及び改修
事業の概要	施設整備工事(247,500千円)、工事監理業務(3,190千円) アスベスト除去工事、ガス空調設備工事、LED照明設備工事、太陽光発電・蓄電池設備工事、高圧受電キュービクル設備工事
	◎2ヵ年継続事業 R1年度 実施設計業務等実施(5,687千円)
	※新型コロナウイルス感染症対策として、手洗所の自動水栓化工事やオゾン発生装置などを購入する。(補正額5,122千円)

3月末の状況

取組状況(達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		5,687	255,098
	予定していた工事は全て完了した。避難所となっているため、停電時は蓄電池から照明等に供給。ガス空調も稼働でき、災害時も安心して利用できる施設となっている。(11月15日工事完了)		
	※新型コロナウイルス感染症対策 消毒用アルコール等消耗品の購入、手洗い自動水洗化工事、便座クリーナー、オゾン発生器、換気用扇風機等を設置した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(意見等) 施設整備が計画どおり終了し、コロナ感染症対策も進んでいる。公民館は災害時の避難所にもなるが、町民が安心して避難できる自立した施設が完成したので、維持管理をお願いしたい。

令和2年度 教育施策評価表

	所属名 学校給食センター
分野	1 学校教育
重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な事業	調理場内施設設備（排気ファン・皮むき器）の更新
事業の概要	排気ファンについて、開所時から使用のため部品等がなくなり修理ができな いため、全6機中毎年2機ずつ交換しており2年目。
	開所当初から使用している皮むき器を更新する。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		3,771	3,539
	・排気ファン更新 夏季休業の開始とともに2基の排気ファンの更新工事の準備を開始し、 8月28日に完了した。		
	・皮むき器更新 4月10日に完了した。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における 意見交換等の内容	

令和2年度 教育施策評価表

	所属名 学校給食センター
分野	1 学校教育
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進
主な事業	食育指導
事業の概要	食生活に対する正しい知識の普及を図るため「給食だより」を各学校へ配布する。生活習慣病予防など健康づくりを就学期からの理解を図るため「センターからこんにちは」を児童生徒の保護者に配布するとともに広報や町HPに掲載し、食育について広く周知する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		0	0
	学校の給食時間における新型コロナウイルス感染防止対策のため、栄養教諭が各小学校全クラスで実施する食育指導は見合わせた。2学期以降、栄養教諭は所属校において学年に応じた食育指導を開始している。 給食時間の放送資料となる「給食だより」も子どもたちの手洗い時間の確保を優先するため、給食再開後の発行は見合わせていた。2学期以降、学校関係者と栄養教諭とで連絡を密に取り、給食における食育のテーマを考慮しながら実施方法や提供方法を検討し再開した。「センターからこんにちは」を発行し、広報にも掲載した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにはほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	

令和2年度 教育施策評価表

	所属名 学校給食センター
分野	1 学校教育
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進
主な事業	食物アレルギー対応
事業の概要	食物アレルギーの児童生徒に対し、国及び町が定めた指針等に基づき、関係各課・学校・家庭と連携をとりながら安全性を重視した対応を行う。
	具体的な対応方法の見直しを検討する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		0	0
	食物アレルギーの対応方法の見直しについて、学校現場及び庁内担当者等で意見交換を実施し、見直し案を作成した。 その案を保護者に説明し理解が得られたことから、新たな「酒々井町学校給食における食物アレルギー対応の手引き」を策定した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(問) 食物アレルギーを持つ児童生徒は何名か。
	(答) 9名である。(基準が変わり、給食に出さない食材が増えたことで対象者は減った。)
	(意見等) 手引きを活かして保護者との共通理解による丁寧な説明をすることで安心につながっていくものと考えられる。
	給食は、児童生徒の命に係わることでもあるので、今回の手引きの作成は先を見越した素晴らしい成果である。十分に活用していただきたい。

令和2年度 教育施策評価表

	所属名 学校給食センター
分野	1 学校教育
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進
主な事業	地元産食材の利用
事業の概要	町で生産される米や野菜、加工品の購入に係る経費を全額町が負担し、地産地消の推進を図る。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		3,000	6,517
		米については全量酒々井町産 5,375千円	
		味噌及び野菜の一部(玉ねぎ、じゃがいも、なす、さつまいも、きゃべつ、大根、長ねぎ、にんじん) 1,142千円	
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(問) 地元産食材の購入を町単費で行うことにより、給食費の抑制を図る、と以前説明を受けたが、実際の効果はどうか。		
	(答) 実際に抑制につながっている。(給食費は値上がりしていない。)		
	(意見等) 安全安心な地元産の食材を使用していること、その部分の増加は町負担としていることは、保護者に伝わっているか。保護者に実態を知ってもらうことは必要だと思われるのでPRを検討していただきたい。		

令和2年度 教育施策評価表

	所属名 学校給食センター
分野	7 教育行政の推進
重点的な取組	(1) よりよい地域・学校づくり
主な事業	学校給食費収納事務
事業の概要	学校給食費の徴収事務を適切に行うとともに、現年度・過年度分未納給食費の滞納整理のルール化、裁判所の支払督促を活用し、徴収にあたる。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		1,037	781
	学校給食費の公費化により教職員の事務の負担軽減、保護者の利便性の向上と振替手数料の無料化による負担軽減が図られた。		
	会計の透明性や公平性を図るため、学校給食費を長期に滞納している保護者に対し訪問徴収を実施し、収納を促すとともに児童手当からの天引き制度の利用を勧めた。また、簡易裁判所による支払督促制度も利用した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		
	学校給食費は税金と異なり私債権なので、回収には民法が適用される。		
	長期にわたり滞納された学校給食費は、時効が発生しても債務者である保護者が「時効の援用」をしない限り町の債権として残ってしまう。		
	そのようにならないよう、在学中に学校給食費の納付を促しているが、簡易裁判所からの支払督促通知を受理しない者もいるため苦慮している。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにはほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(意見等) 給食費の未納対策は学校としては重大な問題であり、徴収に大変な苦勞をしているのが実態である。そのような中、町で徴収事務をしてもらえるので、学校は大いに助かっていると思われる。

令和2年度 教育施策評価表

	所属名
	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援
主な事業	図書館講演会やおはなし会等の開催
事業の概要	子どもの読書離れを防ぎ、子どもの読書を盛んにするため、学校との連携を図りながら、「第二次酒々井町子ども読書活動推進計画」に基づき、取組を進める。(読書通帳の配布、「多読賞」贈呈、子ども映画会の開催、企画展示、ブックリストの配布、図書館講演会の開催等)

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		80	12
	読書通帳の配布 (211冊)、子ども映画会の開催 (5回・171名)、読書に関するアンケート調査、企画展示 (8回)		
	わらべうたの会、おはなし会、図書館講演会、多読表彰式※は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み中止。※表彰状及び副賞を郵送		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。) わらべうた・おはなし会については、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上で、段階的な再開を検討する。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	

令和2年度 教育施策評価表

所属名 プリミエール酒々井

分野	2 社会教育
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備
主な事業	プリミエール酒々井の管理運営
事業の概要	経年による修繕やメンテナンス等が多く生じているため、利用者へ支障を来 来さぬよう、施設の適正な管理運営に努める。 (ホワイエ改修工事、子ども図書館カーテン取替工事、案内看板改修工事等)

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		26,274	23,882
	〈主な工事・修繕〉		
	看板改修工事、図書館カーテン張替工事、ホワイエ床張替工事、雨水排水 施設改修工事、正面玄関前通路改修工事、冷媒漏洩箇所修繕、事務室・書庫 エアコン修繕		
	新型コロナウイルス感染症ワクチン接種会場のため、令和4年3月末まで貸館 中止		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		
	令和2年3月に完成したふれあい広場の利活用について、検討が必要である。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における 意見交換等の内容	(問) ふれあい広場の利活用について検討が必要、とはどのような意味か。
	(答) ふれあい広場は完成と時を同じくしてコロナ禍となり、実際に町民に 使用していただけていない。令和3年度もコロナワクチンの接種会場となる ことが決まり、一般貸出はさらに先延ばしとなった。今後、一般貸出に向け てどのような形が望ましいか検討したい、という意味である。

令和2年度 教育施策評価表

	所属名
	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備
主な事業	図書館資料の拡充及び図書館サービスの充実
事業の概要	多様化する利用者のニーズに対応するため、基本書を中心に、幅広い分野の資料収集に努める。また、大活字本や朗読CDの購入をはじめ、拡大読書器を導入し、障害者等の読書環境の整備を行う。 新型コロナウイルス感染症対策として、書籍消毒機やオゾン発生装置等を購入する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	令和元年度決算額	令和2年度決算見込額
		4,500	9,412
	購入数：図書2,329冊、視聴覚資料35点 (うちリクエスト購入755冊)		
	利用者からのリクエストを優先に、蔵書のバランスに配慮し購入した。		
	図書館報 (2回)、企画展示 (7回)、拡大読書器 新型コロナウイルス感染症対策として、書籍消毒機、セルフ貸出用バーコードリーダー、ホワイトボード、メッセージスタンド、ブックトラック、手指消毒液、オゾン発生器を購入した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。) 新型コロナウイルス感染予防対策として、電子書籍の導入を検討する。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	(意見等) 昨年、酒々井町図書館が優良図書館として表彰され、素晴らしいことだと考えている。利用者の期待も大きいと思われるので、電子書籍などの導入も段階的に実施し、さらに利便性の良い図書館となることを期待する。
----------------	--